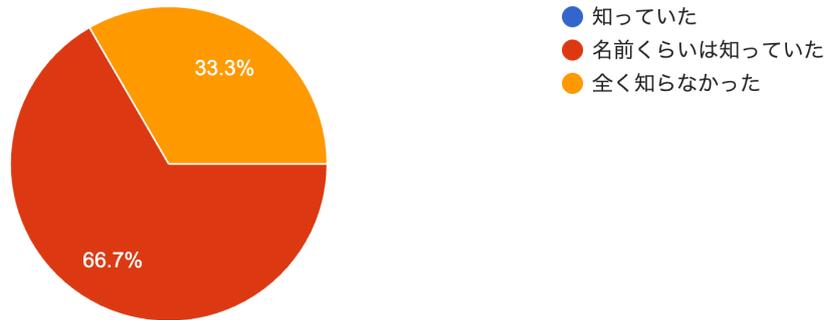
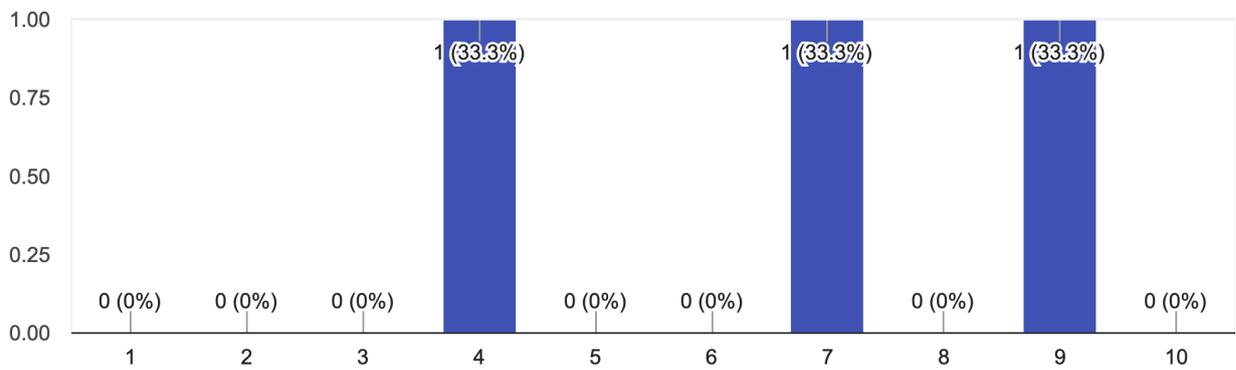


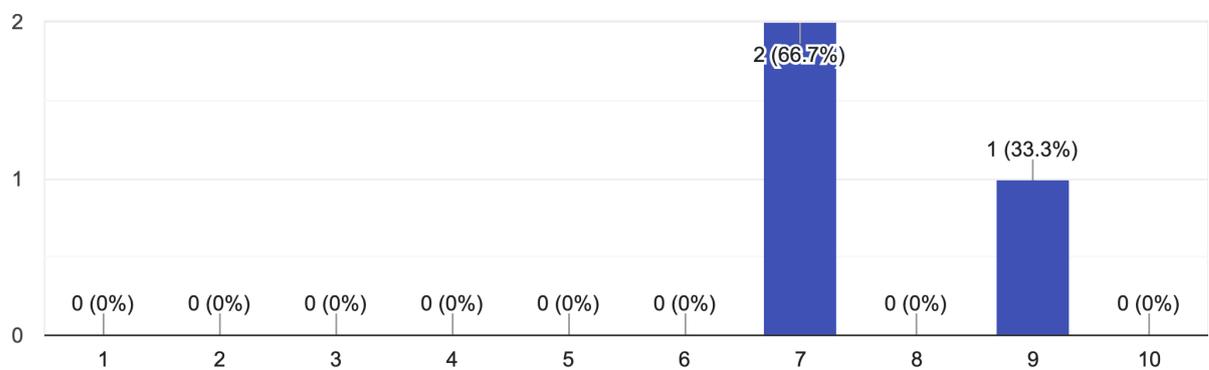
実在した文化活動、シュルレアリスムについての要... シュルレアリスムについてはご存じでしたか？  
3件の回答



読みやすさ  
3件の回答

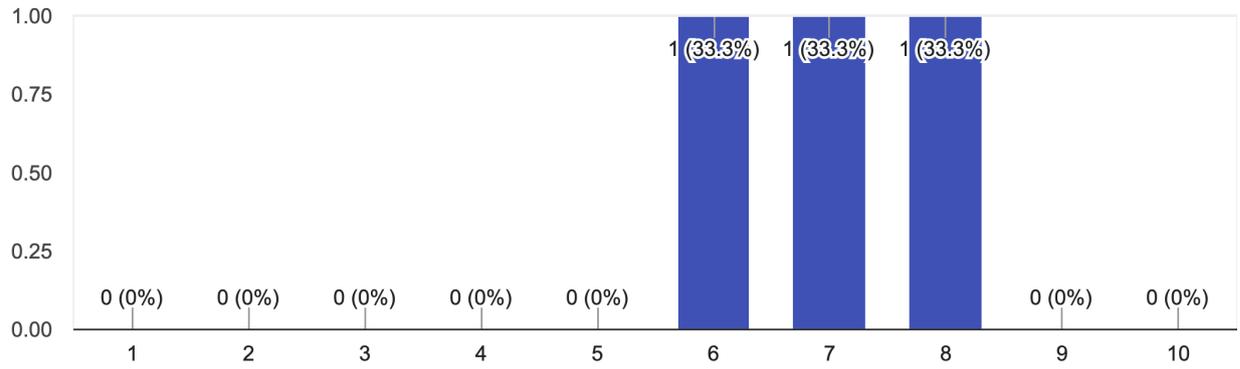


情報量（情報のわかりやすさを含む）  
3件の回答



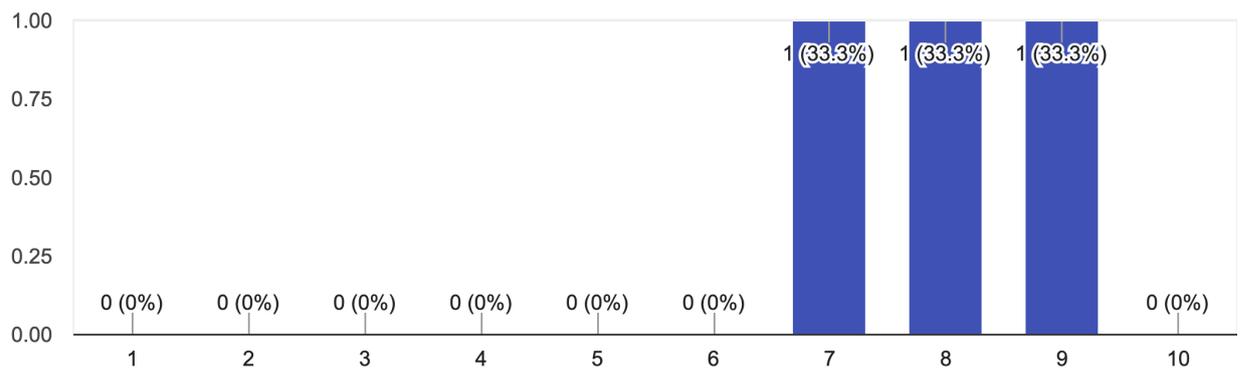
この小説を読んで、シュルレアリスムについて興味を持ちましたか？

3件の回答



全体を通して10段階で評価すると

3件の回答



# 評価アンケ

あけましておめでとうございます。2026年1月担当なかつ分の評価アンケートです。  
該当作品はこちら。

<https://kakuyomu.jp/works/822139842474015704/episodes/822139842474458116>

メールアドレス \*

お名前 \*

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ \*

OK

だめ

その他: .....

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）をお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

実在した文化活動、シュルレアリスムについての要素が入った小説となっていました。\*  
シュルレアリスムについてはご存じでしたか？

- 知っていた
- 名前くらいは知っていた
- 全く知らなかった

読みやすさ

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- 

情報量（情報のわかりやすさを含む）

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- 

この小説を読んで、シュルレアリスムについて興味を持ちましたか？

1（まったく興味をもたなかった）～10（とても興味をもった）

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
-

良かった点を教えてください。

・展示室に入って奇妙な男性と横並びになる。展示されている品々の異様さも相まって、緊張が走る場面です。視線を一瞬外せば、男性の姿が若くなっている。これも不思議な現象で、目を見張るような展開です。シームレスに非日常空間に移行しているが、緊張感は保たれている。彼が品々について語り始め、読者も「もしかして彼は.....」と思い至る。一枚の絵画について、彼は「おもしろかった、それだけなんだ」と楽しげに笑う。これには心を掴まれました。

・【彼の部屋にあったのであろう品々をガラスの向こうに残して、去って行こうとする彼を】→この一文めちゃくちゃ刺さりますね.....。彼の所有物ともども、読者も置き去りにされるような寂しさがあります。幻影である彼と、現実世界から片足はみ出しているだけの語り手との決定的な違いを、まざまざと見せ付けられ、気付かされるような。生きている時代が違うから当然だけど、埋められないズレを思い知らされるといえる。彼が傾けた熱のある楽しい時間は紛れもなく「青春」であり、せっかく語り手も（読者も）時代を超えた共通点を見出だせたところなのに。

・【おもしろかった、それだけなんだ】から【私たちは「青春」と呼ぶ】までの間があっさり、二人の会話は終わってしまう。ここ、もっと読みたかった.....。（とても良い流れだったのもっと欲しかった、というただの願望で批判点ではありません。字数レギュとかあったかもしれないし.....）

・【いつまでも終わらないパーティーのような狂騒が.....】から、完全にあちら側の世界に浸ってしまいました。夢と現実の狭間だと分かっただけで心構えも変わってくる。緊張から解かれて身を委ねられる。そこにきて、映像の見せ方、彼との時間が続いてほしいと思わせる空気感、彼が展示室から出て行くさなか聞こえるざわめき、迷い込んだ夢現の空間が消えてしまった後の冷たさと静寂。語り手の心情や感想をわざわざ補足するような蛇足は無く、綺麗な幕引き。一気に引き込まれたし、語り手の目をとおして同じものを見て、同じ温度を感じて、最後はハッと夢から覚めるような感覚がありました。没入から浮上したときの、あのふわふわした読後感。久しぶりに感じました。非常に心地よい読書体験です。

よくなかった、批判点などを教えてください。

・【全体的に古びて茶色くなっており、新しいものでもなさそうだった】→小泉構文みたいになっている（古びているなら新しいものではないのは当たり前）。こういうのが文中に点在して積み重なると、文章はどんどん重たく冗長になっていくので、できる限りトリミングしてほしいと思う性分です。

【展示室の入り口から中に入った】（入り口は入るところ）も、「扉のない展示室に入った」で伝わります。【文学を中心とした二十世紀の文化活動と説明されていた。「二十世紀最大の文化活動」と書かれており】→これも意味の重複というか、繰り返しになっています。「文学を中心とした『二十世紀の文化活動』と説明されていた」という一文で分かります。

・【スマートフォンを駆使しておぼろげに翻訳したところによれば】→この「おぼろげ」はスマホを使って翻訳を試みるという『動作』に掛かっているように見えます。実際には『翻訳した結果』が不明瞭だが理解できないこともない、という意味ででしょうか。となると、「スマートフォンを駆使して翻訳し、おぼろげながら読み取れた内容によれば」という語順・書き方になるかと思います。

・【波打つくせのある髪には白いものが目立ち始めており、口元には皺が刻まれていたが、大きな目は穏やかであるにもかかわらず強い光が宿っていた】→「波打つ（中略）刻まれていたが」という逆接からの「強い光が宿っていた」となるはずが、間に【大きな目は穏やかであるにもかかわらず】という二つ目の逆説表現が挟まっています。「○○だが、△△にもかかわらず、□□だった」は不自然な流れに思えました。「刻まれていた。」と一度区切っても、「穏やかな目をした老人であるが目には強い光を宿している」と読み取れるので、ご検討ください。

・【今考えると、男の言葉は私が理解できる日本語ではなかったような気がするのだが、私はなぜか自然と、男の言葉を理解していた。まるで、頭のなかに直接、意味が流れこんでくるような。】→言いたいことがよく分かりませんでした。語り手は日本人ではない？【日本の美術館とそう変わらなかった】と感想を述べているから日本人かと思っていた……。それとも、老人の【ひどく懐かしい】という発言の意図や背景は分かりようもないはずなのに、感情がなぜか頭に流れ込んできたということ？ .....と思っていたけど、最後まで読み、ここまで戻って、「男の言葉は（私の母国語である）日本語ではなかった。でも自然と理解できた」という意味なのだと分かりました。もっと分かりやすいと助かるかな.....。例えば「思い返せば、男は外国語で話していた。どこの言語かは分からないが、日本語ではない。でも私はなぜか、自然と、その意味を理解していた。まるで、頭のなかに翻訳機でもあるみたいに」とか。

誤字のご報告はこちらをお願いします。

・【扉のないある展示室の入り口から中に入った】→「ないある」のところが、誤字なのか、「とある展示室」という意味なのか分からなかったので、一応こちらに書いておきます。誤字でなくても読みづらいので、読点で区切った方がいいと思います。個人的には、そもそも「ある」は不要だと思います。

・【並べられた品々がそれぞれが何の品なのかも】→二つ目の「が」は、消し忘れかな？

文章ルールについて

気になる点があれば記述をお願いします。

全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

その他何かあれば

---

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

# 評価アンケート

あけましておめでとうございます。2026年1月担当なかつ分の評価アンケートです。  
該当作品はこちら。

<https://kakuyomu.jp/works/822139842474015704/episodes/822139842474458116>

メールアドレス \*

お名前 \*

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ \*

OK

だめ

その他: .....

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）をお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

実在した文化活動、シュルレアリスムについての要素が入った小説となっていました。\*  
シュルレアリスムについてはご存じでしたか？

- 知っていた
- 名前くらいは知っていた
- 全く知らなかった

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>							

情報量（情報のわかりやすさを含む）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>							

この小説を読んで、シュルレアリスムについて興味を持ちましたか？

1（まったく興味をもたなかった）～10（とても興味をもった）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>						

良かった点を教えてください。

「雑多なもの」の表現がそのままですごくいいなあ...雑多だ...と、様々なものを見た時の表現としてすごくいい文章だなと思いました。こんな感じなんだ...と勝手に想像できるところがとても良い。

「青春の夢」をすごく、全身で浴びているような気持ちになりました。「白昼夢」と表現していいのですが、にぎやかな幻のような、夢を描く文章。凄く美しいと思います。

よくなかった、批判点などを教えてください。

誤字のご報告はこちらをお願いします。

文章ルールについて

気になる点があれば記述をお願いします。

全体を通して10段階で評価すると



その他何かあれば

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

# 評価アンケート

あけましておめでとうございます。2026年1月担当なかつ分の評価アンケートです。  
該当作品はこちら。

<https://kakuyomu.jp/works/822139842474015704/episodes/822139842474458116>

メールアドレス \*

お名前 \*

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ \*

OK

だめ

その他: .....

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）をお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

実在した文化活動、シュルレアリスムについての要素が入った小説となっていました。\*  
シュルレアリスムについてはご存じでしたか？

- 知っていた
- 名前くらいは知っていた
- 全く知らなかった

読みやすさ

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- 

情報量（情報のわかりやすさを含む）

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- 

この小説を読んで、シュルレアリスムについて興味を持ちましたか？

1（まったく興味をもたなかった）～10（とても興味をもった）

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
-

良かった点を教えてください。

ポンピドゥー・センターも、シュルレアリスムも知らなかったので、私の印象は、前半は固有名詞が多くてとっつきにくいなという印象でした。ですが、後半、男性が出てきてエピソードを話すシーンになるととっ散らかった展示物たちが、温かみのある物に変わっていくようで好きです。

よくなかった、批判点などを教えてください。

誤字のご報告はこちらをお願いします。

文章ルールについて  
気になる点があれば記述をお願いします。

全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>						

その他何かあれば

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム